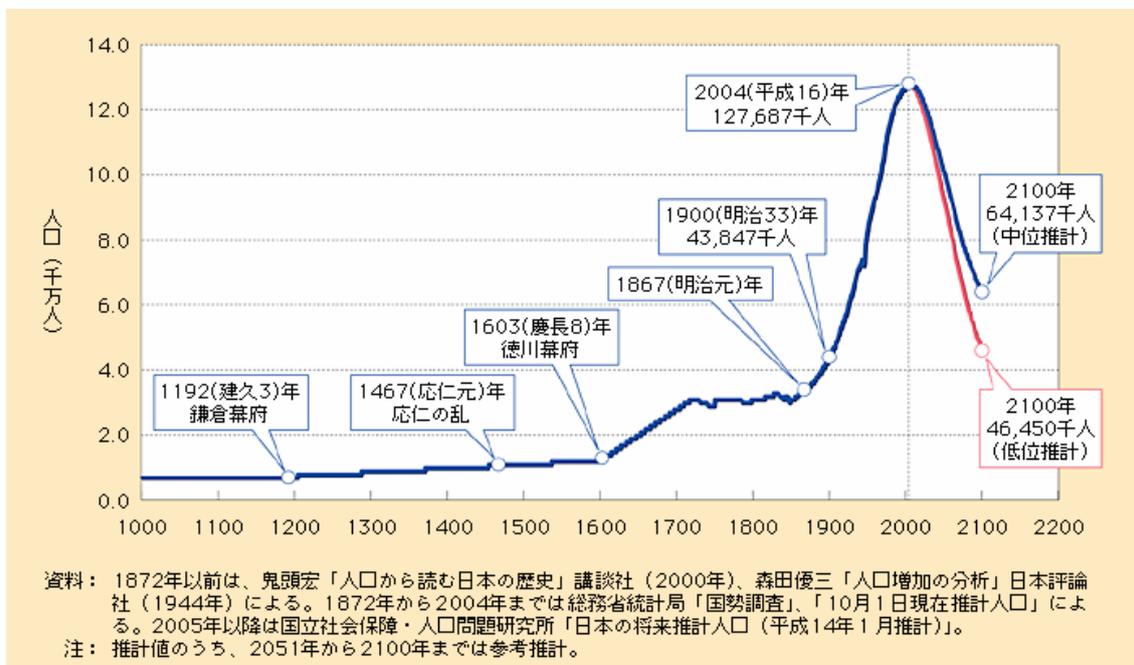


「人口・世帯に関するデータ」を図表で理解する

(2007年1月1日作成)

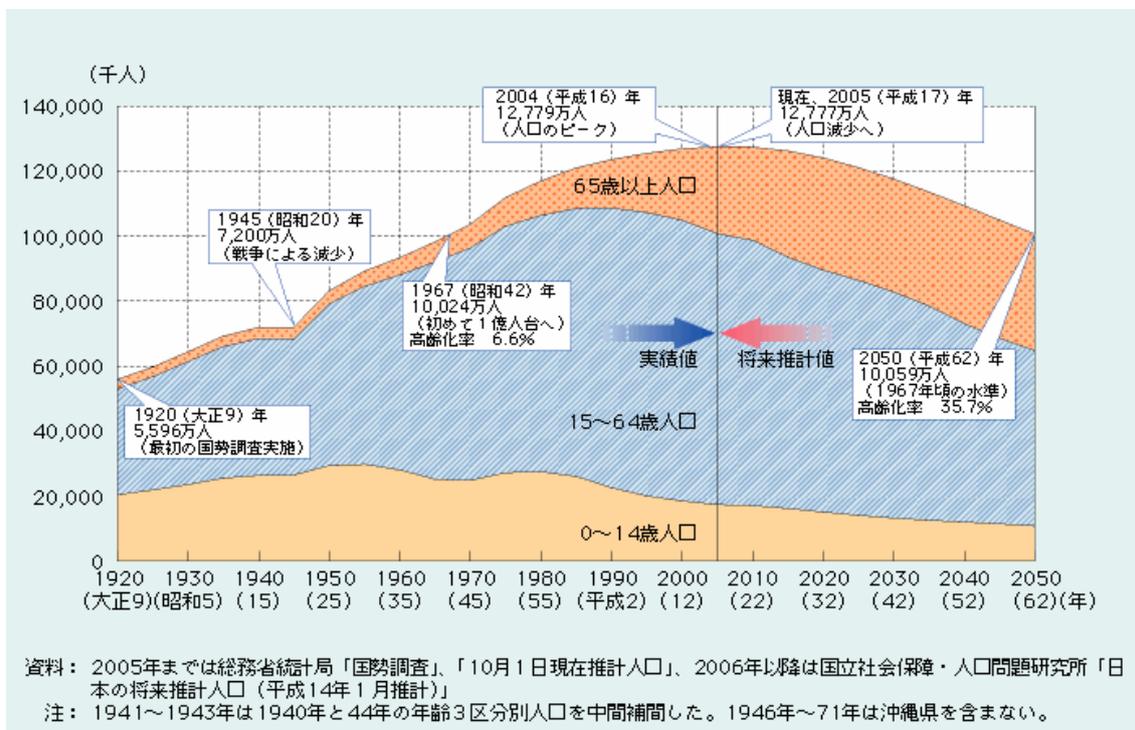
(1) 日本の人口の趨勢(2002年時点の推計)



【2006年12月に発表された新しい人口推計】

・総人口は2005年の1億2777万人が2055年には8993万人と予測している。65歳以上人口は2005年から約1100万人増え3646万人となり、少子高齢化がさらに進行する将来像が予測される。年少(0～14歳)人口が約1000万人、生産年齢(15～64歳)人口が約3800万人それぞれ減少する一方、平均寿命が延び老年(65歳以上)人口は大幅増加し、「5人に2人」が高齢者となる。総人口は2046年には1億人を割り込む(9938万人)と予測している。

(2) 日本の人口構造の推移(1920年～2050年)



(3) 日本の年齢別人口の現状と国際比較

①日本の現状

単位：万人（人口）、％（増加率、構成比）

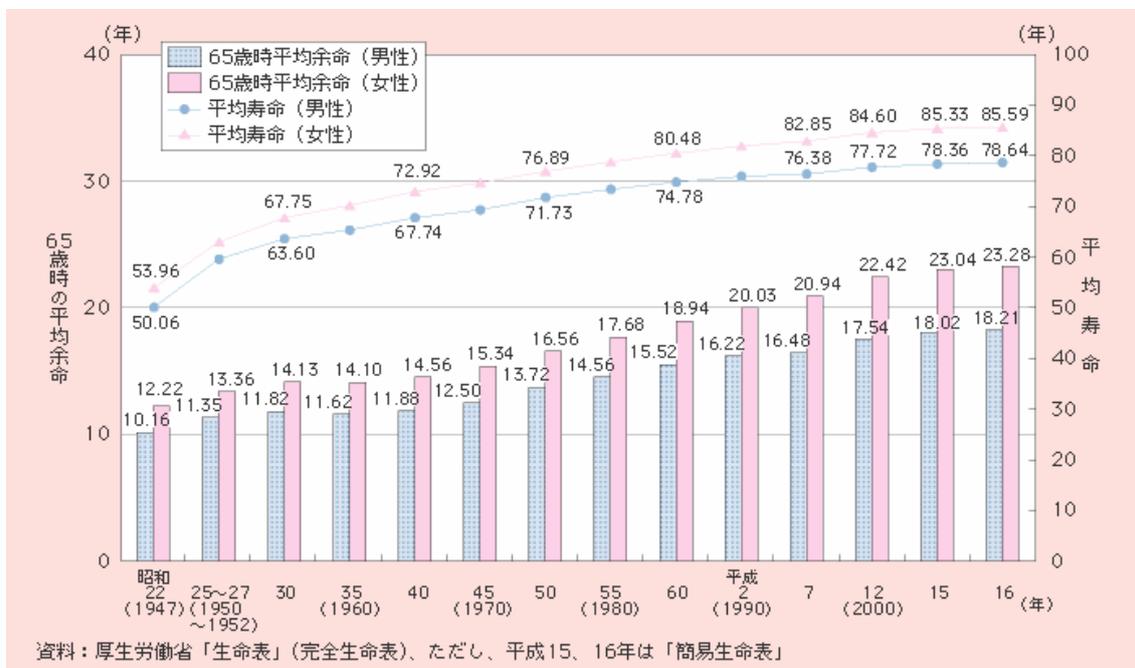
	平成17年10月1日			平成16年10月1日		
	総数	男	女	総数	男	女
人口 (万人)	総人口	12,776	6,234 (性比) 95.3	12,769 (12,778)*	6,230 (性比) 95.3	6,539
	高齢者人口（65歳以上）	2,560	1,084 (性比) 73.4	2,488	1,051 (性比) 73.1	1,437
	前期高齢者（65～74歳）	1,403	655 (性比) 87.6	1,381	644 (性比) 87.4	737
	後期高齢者（75歳以上）	1,157	429 (性比) 58.9	1,107	407 (性比) 58.1	700
	生産年齢人口（15～64歳）	8,459	4,250 (性比) 101.0	8,508	4,270 (性比) 100.8	4,238
	年少人口（0～14歳）	1,756	901 (性比) 105.4	1,773	909 (性比) 105.1	865
構成比	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	高齢者人口（高齢化率）	20.0	17.4	19.5	16.9	22.0
	前期高齢者	11.0	10.5	10.8	10.3	11.3
	後期高齢者	9.1	6.9	8.7	6.5	10.7
	生産年齢人口	66.2	68.2	66.6	68.5	64.8
	年少人口	13.7	14.4	13.9	14.6	13.2

資料：総務省統計局「推計人口」（各年10月1日現在）
（注1）※は、平成17年国勢調査人口（要計表による人口）を基に逆差的に補正した暫定値
（注2）「性比」は、女性人口100人に対する男性人口の割合

②国際比較

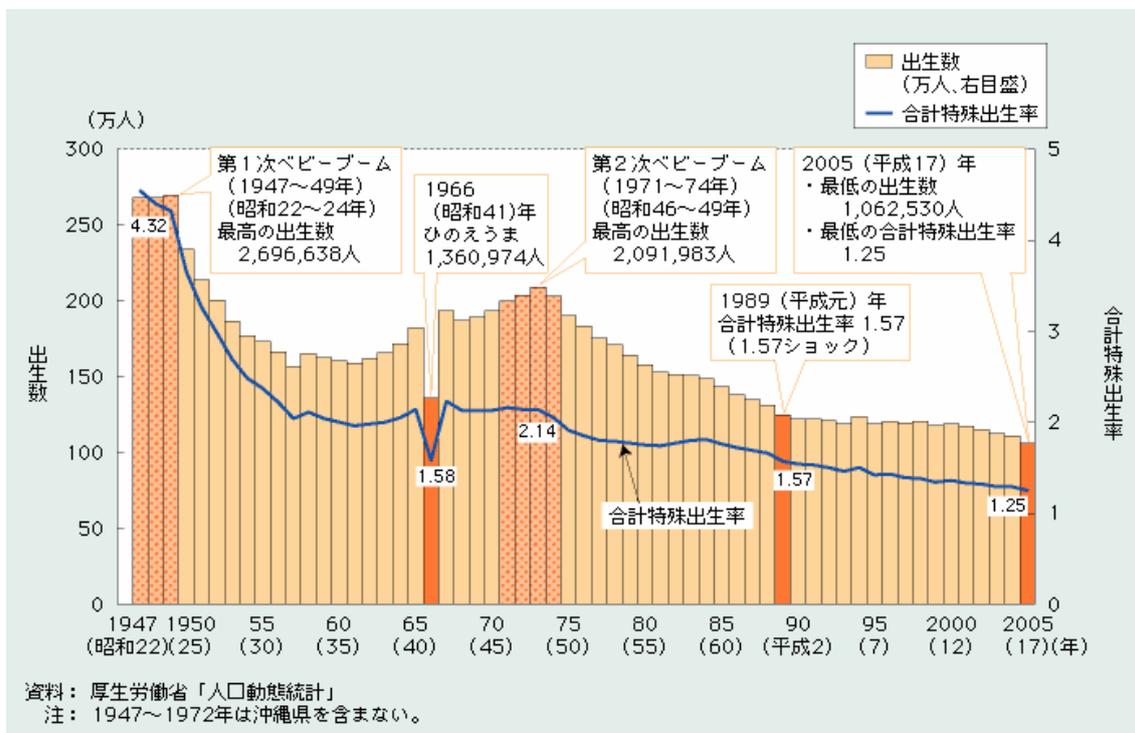
国名	年齢別割合(%)		
	0～14歳 (年少人口)	15～64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)
日本	13.7	65.8	21.0
イタリア	14.0	66.0	20.0
スペイン	14.3	69.2	16.5
ドイツ	14.3	66.9	18.8
ロシア	15.3	70.9	13.8
ポーランド	16.3	70.7	12.9
スウェーデン	17.5	65.3	17.2
カナダ	17.6	69.3	13.1
イギリス	17.9	66.1	16.0
フランス	18.2	65.2	16.6
韓国	18.6	72.0	9.4
アメリカ合衆国	20.8	66.9	12.3
中国	21.4	71.0	7.6
アルゼンチン	26.4	63.4	10.2
インド	32.1	62.7	5.3
南アフリカ共和国	32.6	63.2	4.2
資料: United Nations "World Population Prospects 2004 Revision".			
ただし、日本は総務省「国勢調査」(2005年)による。			

(4) 日本の平均寿命および65歳時の平均余命の推移



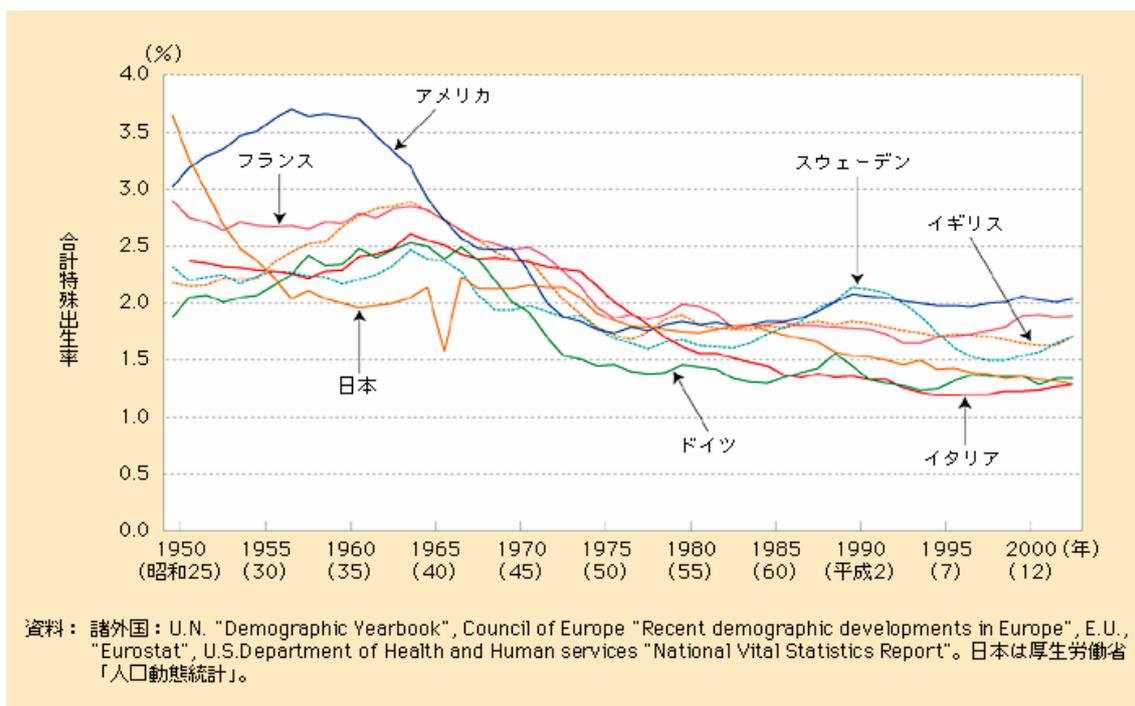
(5) 日本の出生数および合計特殊出生率と国際比較

①日本の出生数および合計特殊出生率の年次推移(1947年～2005年)

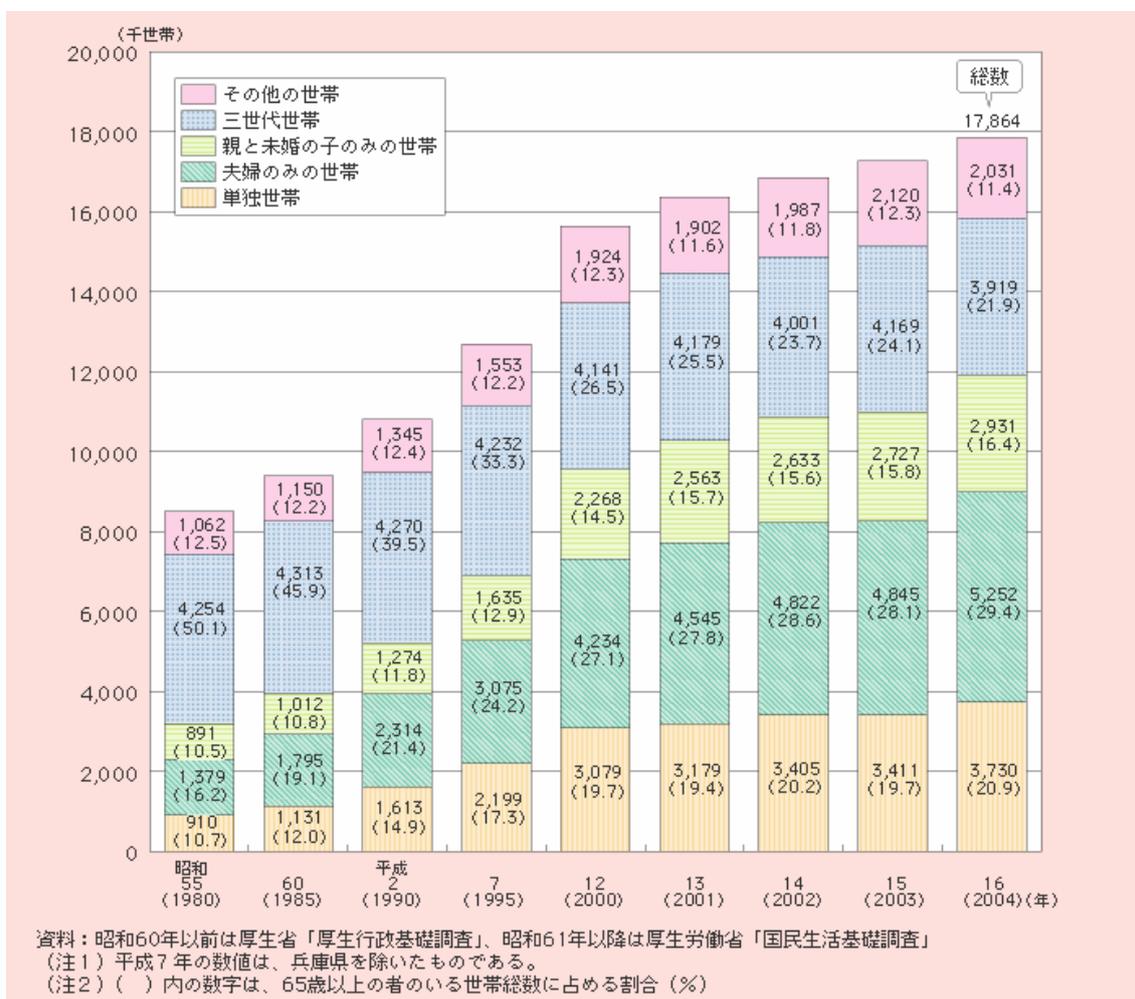


2006年11月：2005年の1.25は1.26に修正された。

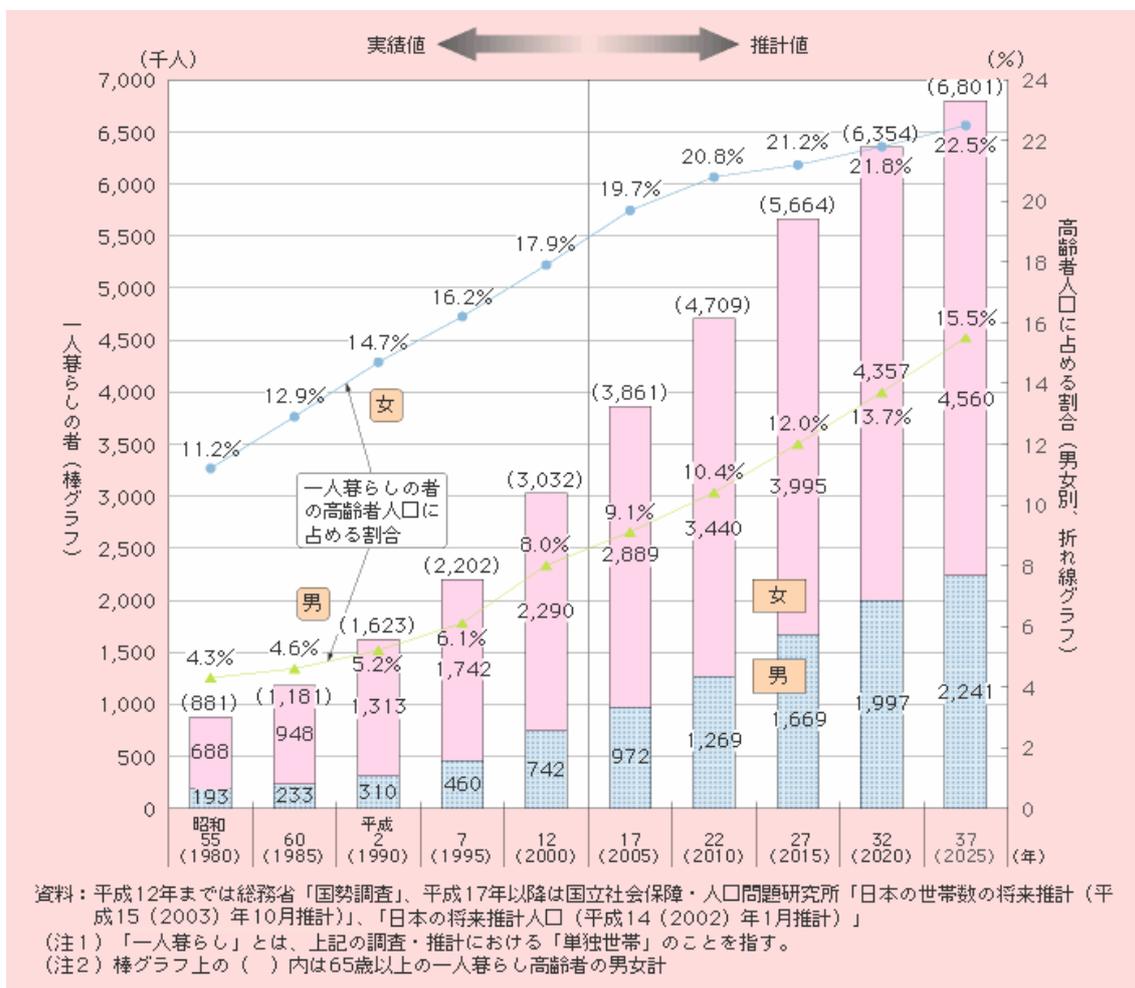
②合計特殊出生率の国際比較(2005年のデータ)



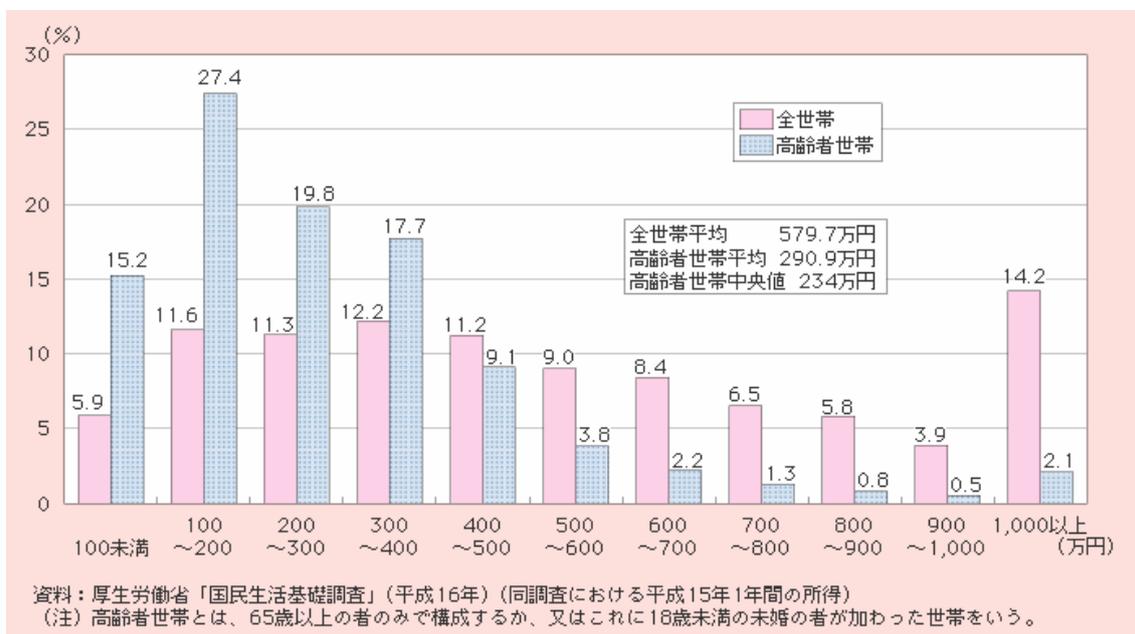
(6) 65歳以上の者のいる世帯数および構成割合



(7) 一人暮らしの高齢者の動向



(8) 高齢者世帯の年間所得の分布



資料：2005年版および2006年版の少子化社会白書，高齢社会白書他